

1. 科目名（単位数）	企業統治論（非営利企業を含む）（2単位）		3. 科目番号	SBMP3116
2. 授業担当教員	麦島 哲			
4. 授業形態	講義を主にしながら質問、報告、討論の時間をつくり進める。		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	「経営学」や「経営戦略論」も履修することが望ましい。			
7. 講義概要	1) 企業の健全な経営のため最も重要な機能は企業統治だといわれている。まず企業統治（コーポレート・ガバナンス）とは何かについて理解を深める。 2) 企業という場合、株式会社などの営利企業のほかに非営利企業(NPO 法人など)、最近では社会的企業と表現される企業があるが、株式会社を中心としつつ、各種の企業経営に共通の機能として企業統治機能の内容を解明する。 3) 企業活動のグローバル化にともない、日本をはじめアメリカ、中国、韓国、ドイツなどの企業統治の特徴を具体的にとりあげ、国際化への知的対応を準備する。			
8. 学習目標	将来、企業（営利企業、非営利企業）へ就職したり、企業を設立、運営したり、企業と関係することが多いと思われ、そのような意味から学習の目標としては、1) 企業の立場から企業統治を考えるとともに、2) 企業の利害関係者（ステイクホルダー）の立場から、株主、従業員、顧客、地域社会などの視点から考え、3) 数多くの具体的な事例をとりあげ、問題への認識を深めることを目標とする。			
9. アサインメント（宿題）及びレポート課題	講義で取り上げた学習した問題または関連するテーマについて課題を示し、検討する。			
10. 教科書・参考書・教材	吉村典久他 企業統治 中央経済社、2017			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 企業統治に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 2. 経営学的な思考が身についたか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、期末試験、レポート等を総合して評価する。 1 授業への積極的参加 総合点の30％ 2 期末試験 総合点の40％ 3 課題レポート 総合点の30％			
12. 受講生へのメッセージ	1. 授業には積極的に参加すること。 2. 授業中の私語厳禁、携帯電話の使用厳禁			
13. オフィスアワー	講義時間の前後			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容		学習課題	
第1回	ガイダンス 序章 会社統治	事前学習	企業統治とは	
		事後学習	多様な会社感	
第2回	第1章 企業の経営と統治	事前学習	企業と社会	
		事後学習	経営と統治	
第3回	第2章 企業制度の基本的なしくみ	事前学習	企業形態の多様性	
		事後学習	株式会社の特徴	
第4回	第3章 資金調達の基本しくみ	事前学習	資金調達の基本的な手段	
		事後学習	資金調達の新たな動き	
第5回	第4章 企業家と組織	事前学習	企業家とは	
		事後学習	組織ライフサイクルと企業統治	
第6回	第5章 企業家と社会問題の解決	事前学習	社会問題とは	
		事後学習	問題解決者としての企業家	
第7回	第6章 会社間の多様性	事前学習	多様な会社観	
		事後学習	会社制度観の企業統治論	
第8回	第7章 多角的な統治	事前学習	プレーヤーによる統治	
		事後学習	授業員による統治	
第9回	第8章 同族による統治	事前学習	同族の果たした役割	
		事後学習	資本コストとコーポレート・ガバナンス	
第10回	第9章 非営利組織	事前学習	非営利組織	
		事後学習	非営利組織の統治	
第11回	第10章 経営戦略論との関係	事前学習	経営戦略論	
		事後学習	経営戦略論を超えて	
第12回	第11章 企業の責任	事前学習	企業の責任とは	
		事後学習	企業の責任について	
第13回	第12章 良心による統治	事前学習	良心による企業統治とは	
		事後学習	企業統治の今後	
第14回	まとめ 重要問題	事前学習	第1章から第12章までの復習	
		事後学習	重要問題の整理	

第 1 5 回	全体のまとめと課題整理	事前学習	企業統治とは
		事後学習	企業統治について、整理する
期末試験			